子どもも大人も楽しく交流

立正大学ラグビーフェス

（熊谷市）

約100人の子どもが参加したラグビースクール

立正大学ラグビーフェスティバル2022が12日、立正大学熊谷キャンパス内のラグビー場で開催された。

ラグビーを通じた地域交流や人材育成を目的とした、イベント。昨年と一昨年は新型コロナ禍で中止だったため、3年ぶりの開催となった。

当日は小学生以下が対象のラグビースクール、40歳以上のシニアラグビーチーム「熊谷不惑倶楽部」と「群馬惑倶楽部」の試合、「立正大学」と「大東文化大学」の試合が行われた。ラグビー部員や女子ラグビーチーム・アルカス熊谷の選手が講師を務め、地元の「熊谷ラグビースクール」や「アルカスアカデミー」に所属する約100人の子どもたちを指導しながら楽しく交流した。

熊谷不惑と群馬惑惑の試合

立正大学ラグビー部後援会名誉会長の小林哲也の初代チャンピオンになるなど、まさに熊谷は名実ともに「ラグビータウン」になったと思います」などと話していた。

熊谷に本拠地を置くワイルドナイツがリーグワンラグビー部が関東大学リーグ戦の一部昇格を決め、

ワイルドナイツの優勝を記念

菓子店でサイン会など

（熊谷市）

熊谷市の菓子店「梅林堂」箱田本店で18日、熊谷を本拠地とする埼玉パナソニックワイルドナイツのリーグワン優勝を記念したイベントが開催された。

この日、ワイルドナイツの内田啓介選手、谷昌樹選手、布巻峻介選手を招き、サイン会を開催。3選手のサインを求める人で整理券の配布場所は長蛇の列。順番が来ると選手と会話するなどして交流を楽しんだ。サイン会の前には、2019年のラグビーワールドカップの際に同店に設けられたラグビー神社（春康神社）の大祭として、3選手を含む関係者による神事が執り行われた。整理券を受け取った人には入りユニホームなどが当たる抽選券の提供もあった。

会話を交わすなどで選手と交流したサイン会

「やわらか」や、サイン市内在住でワイルドナイツファンの関口幸希さんは「コロナの影響もあり練習場に見学に行ってもなかなかサインをもらう機会がなかったので、目の前で書いてもらえてとてもうれしかった。今日は日本代表の試合があるので、良い試合になってほしいとラグビー神社にお願いしました」と話していた。

ラグビー神社に参拝する来店者

熊谷市×ワイルドナイツ

「熊谷ラグササイズ」動画配信

（熊谷市）

竹山選手が出演しているバックス編

床田選手が出演しているフォワード編

熊谷市はこのほど、ラグビーの動きを取り入れた体操「熊谷ラグササイズ」の動画を制作。今月1日にユーチューブの熊谷市公式チャンネルにアップロードした。

「ラグササイズ」は「ラグビー」と「エクササイズ」を合わせた造語。元ラグビー日本代表で特定非営利活動法人ワイルドナイツスポーツプロモーションの三宅敬理事長が考案した体操で、タックルやキックといったラグビーの動きを取り入れている。無理のない範囲で誰でもできる暑さ対策を兼ねて、熱中症予防にもなるとされている。

熊谷市長はセレモニーにおいて切り出し、「ラグビータウン熊谷」にちなんだ体操動画を制作した。動画は2本あり、三宅事長が考案したものと、竹山晃暉選手（フランカー）が出演している。

登場するフォワード編に床田裕宏選手（プロップ）が、バックス編に竹山晃暉選手（ウイング）が出演している。

制作を担当した市役所ビータウン推進課は、市民らにラグササイズを実践してもらうことで熱中症予防につなげたいとしている。

ラグササイズの動画はこちらから